



JAMCA ニュース

No.117

2023年4月1日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大塚町31

ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

編集事務局

未来の自動車整備士のために、いまやるべきこと

学校法人 ホンダ学園 常務理事
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

中嶋 歩

自動車業界は「100年に一度の大変革期」と言われ始め早数年が経過し、環境問題が大きく取りあげられ、新興メーカーが様々な電動車をリリースし、既存自動車メーカー各社も内燃機関車から電動車へとシフトしてきている。また、自動車そのものの使われ方も多種多様に変化してきている。このような大きな変化を迎えつつある中で、自動車整備士にはより難度の高い技術と知識が求められるようになってきており、自動車整備士へ求められる期待は益々高まるばかりである。

しかしながら、少子高齢化が進む日本社会にあつては、毎年出生率が低下し、2022年において出生数は77万人程度となっている。2023年における18歳人口が112万人であることを考えると、2040年の18歳人口は現在よりも30%以上も減少する計算となり、益々自動車整備士を志す若者が減少することは容易に想像できる。この危機感を払拭するためにも、今こそ自動車整備士の「価値」と「存在意義」を高めなければ、真のサステナブルなモビリティ社会は訪れないと思われる。

自動車整備士に対する「価値」向上と「存在意義」の認知拡大の重要性は、JAMCA ニュースの



場でも理事の皆様が様々に発信されており、理事会に於いても「どのように取り組むべきか」の意見交換を行っている。自動車整備士は「国民の生命と安全を守る」極めてやりがいの高い仕事であるということの社会への訴求は、迅速に取り組まなければならない課題の一つである。

このことと共に、高度な技術と知識を兼ね備えた優秀な自動車整備士を輩出するためには、その者を育成する教職員もまた高度な技術と知識と共にマナー・マインドにも精通していることが重要であり、教職員のスキル向上は正に必要不可欠であり、いまやるべきことである。

昨年8月に3年ぶりに教職員夏季研修会を開催することができ、JAMCA 加盟校より30名近い教職員の方々にご参加頂いた。研修を通じ、授業運営技法やコーチング技法などを学び、グループディスカッションでは日々教職員の皆さ

んが抱えている問題・課題について議論することができ、参加頂いた皆さんから高い評価を頂いた。

この研修を通じて感じたことは、教職員の皆さん自身が電動化やAI化などの高度技術にタイムリーに従従できるかどうか、どのように新しい技術を学生に指導できるかなど、課題意識を持っている一方で、その解決に向けた手段がまだまだ整備されていないということであった。

最新技術の習得、Z世代・α世代の若者の価値観にに応じた接し方、学生の基礎学力のレベル差対応、留学生への対応、Y世代・ミレニアル世代の教職員自身の価値観を踏まえたキャリア構築など、より多様性が求められる時代に即した自動車整備士教育体制への刷新も JAMCA として今後取り組むべきことであろう。

未来の自動車整備士のために、JAMCA 加盟校一丸となって次世代を歩んでいきましょう。

CONTENTS

- | | |
|-------|----------------------------|
| 2面 | 未来の自動車整備士に繋ぐ「TSUNAGU」 |
| 3面 | クルマ大好き!、活躍!! 卒業生 |
| 4面・5面 | 日本におけるカーボンニュートラルに向けたインフラ動向 |
| 6面・7面 | 協会トピックス・地区通信 |
| 8面 | 私の教材活用・お知らせ・編集後記 |